

人だとも言われている。大阪狭山市には従来からの表彰規程があるが、もう一度、タイミングに合わせて表彰するような規定を付加してはどうか。活躍している市民の存在を市民全体に知らせるのも必要である。

【答弁】

井村雅代様は、日本代表ヘッドコーチや監督として選手を指導し、世界屈指のナショナルチームの育成に尽力されており、平成16年度に市民栄誉賞を受賞されておられます。また、現在将棋で活躍中の室谷由紀様は、第21回すくすく王将杯全国大会で4位を初め数々の好成績を賞し平成14年度に、西山朋佳様は、第30回全国中学生選抜将棋選手権大会女子の部に出場し、優秀な成績を賞し平成21年度に、それぞれ大阪狭山市文化教育功労者表彰を受賞されておられます。

本市では毎年、大阪狭山市功労者・善行者表彰及び教育委員会文化教育功労者表彰式を開催し、市政や公益、教育文化の発展に功績のあった個人や団体を、市と教育委員会が市表彰条例、市教育委員会表彰規程に基づき表彰している。

【意見】 小原議員

それぞれ表彰されたのは、もう約10年前のこと。だから、私が言いたいのは、前に表彰されてもうそれで終わりでは、物足りない。他の方法を考えてください。



③ てんぷら油回収の件

【質問】

NPO法人が本市との協働で契約をして約8年間に亘って廃てんぷら油の回収活動を実践してきたが、諸般の事情により回収を中止することになった。

本市は、市民協働をうたって推進してきた。折角長い間回収作業を続けてきたのに、これで終わるといっては残念であり、市民協働の一つの行き詰まりのように感じてならない。資源リサイクルの趣旨と地球温暖化防止のために協力してくれた市民に対して、どう説明したらいいのか、市当局として今後どうフォローされるかをお聞きしたい。

【答弁】

NPO法人から協働事業提案があったもので、回収ボックスの設置場所を公民館、社会教育センター、コミュニティセンター、市役所南館などの公共施設として、NPO法人が回収活動を行うという事業内容により、市は事業協力として実施することとなったもの。今回、この廃食油の回収活動が28年末をもって中止されることになったが、現段階で廃食油回収を継続する形で市が実施することは困難であると考えている。

【意見】 小原議員

市は協働を推進しているが場所提供以外に、もう少し何かインセンティブな方法が図れなかったのか、協力団体を探さなかったのが一番の失敗であったと思う。やはり協働という限り、官民協働を旨く進めて頂きたかった。

資源リサイクル
地球温暖化防止

